



## 伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121  
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2933回例会 2021.5.13 No.1593



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

**ソング** 君が代 奉仕の理想

**四つのテスト** 鈴木正比古職業・社会奉仕委員長

**ビジター・ゲスト紹介**

ボーイスカウト伊那第1団 団委員長 湯川幹男 様

**会長談話** 藤澤洋二会長

今日はボーイスカウト伊那第一団 団委員長の湯川幹男さんにおいていただき、後ほどボーイスカウトの現状についてお話しいただけることになっております。よろしくお願い致します。



ボーイスカウト伊那第一団は1964年3月に隊員10名、団委員4名で結団式が行われ、翌年1965年12月に年少隊(カブスカウト)が隊員12名で結団式が行われました。兄の秀敬が1964年のボーイスカウトの結団式に参加し、私も1965年の年少隊の結団式に参加しました。小学校3年の時の群市民会館(今のいなっせの一面)の会議室での年少隊の結団式をおぼろげに覚えております。伊那ロータリークラブの20周年記念誌に二つの結団式の写真が掲載されていて、二人とも確かに写っておりました。

その後、伊那公園か春日公園だったかで、日曜にカブスカウトの集まりがあり、ゲームなどで指導の皆さんに遊んでいただきました。カブスカウトの課題をできるようになるともらえる、胸につけるスカウトのバッジがかっこ良く欲しかったのですが、参加不良のスカウトで何もできるようにならず、バッジはもらえませんでした。

指導者の皆さんに大変お世話になりましたが、いつしか参加しなくなってしまいました。ロータリーの会長になり、湯川団委員長にお会いするとわかっていけば、もう少し真面目にスカウトをしていたと思うのですが、失礼しました。

私の家内の亡くなったおじさんは、辰野のボーイスカウトとご縁があり、40歳代のころ、指導者を務めていました。山登りが趣味でアウトドアが好きでしたので、仲間からスカウトの指導に誘われたのではない

かと思います。家内をガールスカウトに入れたかったようです。家でボーイスカウトの歌、「山賊の歌」、「一日の終わり」などよく歌っていて、家内は、そのボーイスカウトの歌をよく覚えています。

ボーイスカウトの活動は、子供たちに様々な機会がある、多様化した現代にあっても、自主性、協調性、リーダーシップなどを育てる場を子供たちに提供する、大事な役割を担っていると思います。そのボーイスカウト活動を支援できることは、伊那ロータリークラブにとって大変意義のあることと考えます。

湯川さんも今後ともボーイスカウト活動に頑張っていたきたいと思います。よろしくお願い致します。

**誕生祝** 坂井清彦会員

原田和愛会員 小松大介会員

**結婚記念日祝** 小林孝行会員

岩附 宏会員 登内豊明会員

**在籍祝**

下枝正一会員(27)

山田 益会員(21)

向山賢悟会員(5)

本郷一博会員(2)

前澤朋欣会員(2)



**幹事報告** 別紙をご覧ください

**理事会報告** ・6月プログラム、尾張旭RC50周年のご祝儀と祝辞の送付、伊那中央RCとの合同例会中止、これらの承認。

**委員会報告** 5月号「友」の紹介 中山一郎副会長

**横組みP7~17** 5月は青少年奉仕月間でエジプトの米山学友へのインタビュー。中でも11頁のミイラに関する豆知識は面白いです。次はカンボジアの医療センターで栄養士をしているグローバル補助金奨学生の



川合さんへのインタビュー。フィリピンルソン島のバギオで、戦後迫害を受けてきた日系青少年を支援しよ

うと設立されたバギオ基金について。

**P18～20** 侃侃諤諤(かんかんがくがく)は、新型コロナウイルス禍での新体験の紹介。

**P21～25** ロータリーモーメントでは、各ガバナーそれぞれ、親睦並びに人との出会いがガバナーの人生の柱になったと載っています。

**P22～23** よねやまだよりは、アフリカのナイジェリア出身で日本の東芝三菱電機産業システムで働いている学友の紹介です。

**P33～** 連載コミックは、ロータリーが身体障害者養護学校を造ることに加熱していった状況に、理論派のロータリアンからは活動の範囲を制限する必要があるという意見が出され、ポール・ハリスは次の国際大会で原則を決めたいとする下りです。

**縦組み P4～** 福島県第2530地区中央分区 I Mでの、あさかホスピタル佐久間理事長の基調講演要旨です。人間の赤ちゃんは他の動物と異なり、非常に早産のため一人では生きていけない。生後1年間の養育者との結びつきが大変重要で、他者を認知する共感性、社会性もこの間に発達する。

**P9～**「この人訪ねて」は、一本700円のニンジンジュースをインターネット限定で5本セット1箱5,000円で年間4万本売っている農業界の風雲児、茨城県下館ロータリークラブの潮田会員へ取材記事。

**出席報告** 会員数 54名 内出席免除 15名  
出席者 30名 事前メーキャップ 2名  
出席率 74.41%

**ニコニコボックス** 藤澤洋二・小松献臣

ボーイスカウト伊那第1団 湯川様 本日の卓話、植樹例会よろしくお願い致します。

在籍祝 山田益・向山賢悟・本郷一博・前澤朋欣  
ラッキー賞

山崎秀亮 唐澤幸利

藤澤秀敬 唐木 章

唐澤洋祐 本郷一博

八木択真



**クラブフォーラム** 「青少年奉仕月間」

卓話 ボーイスカウト伊那第1団

団委員長 湯川幹男 様

演題-「ボーイスカウト伊那第1団の

現況報告」



ボーイスカウトの始まりは、1907年イギリスで

創始者が20人の子供達と行った「実験キャンプ」です。

現在は世界170カ国と地域で、4,000万人ものスカウトが活動しています。青少年社会教育団体としては、他に類を見ない程の国際性を持ち、その意義が広く認められています。

伊那第1団は、スカウト23名とリーダー等で、50名程度の団体で、今年で57年。伊那RCからは、多大な活動支援を得ており、感謝しています。

昭和の時代は家庭教育、社会教育もしっかりしていましたが、昭和の終わり頃からそうしたものが、廃れて来ていると思います。その裏返しとしてボーイスカウト活動は、自然を敬愛し、奉仕の精神で自然の中で生きる技能を身に付け、友好的な人間関係、友人関係を築き、立派な大人になる基礎を育んできた活動です。

小学1年生からビーバースカウト、カブスカウトを経て、6年生からボーイスカウトになり、対象は中学3年生までです。経験あるスカウトが班長となり、新人スカウトを指導します。リーダーはそれらを育成していく体制となっています。中学生になると、プロジェクトを企画・立案し、実行していけるようになります。

高校生は、アルプス縦走などかなりハードなプロジェクトを完遂するなど、大変逞しく育ちます。青少年のうちに汗水垂らして苦勞すると、良い思い出になるばかりか、この経験・体験は人を育て、将来立派な大人になることにも繋がっていきます。

スカウトには「誠実であれ」「勇敢であれ」「友情に厚い」などの『8つの掟』があり、これはボーイスカウト活動の場だけでなく、日常生活の中でも実践していることです。

時代は変わっても「子供は宝」です。私達大人が大自然に囲まれたボーイスカウト活動を通じて立派な大人になるよう、子供達を育てていきたいと思っています。

現在コロナ禍で、活動の一環である野営キャンプ等は中止となっていますが、毎月々の活動はあり、これを一番大事にしっかりとやっていきたいと思っています。

伊那RCには57年間、活動支援していただき、改めて感謝申し上げます。今後もスカウト、リーダー等の募集にご協力いただきたいと思います。